

令和6年度 教育DX加速化推進事業

具体的な取組実績			
具体的な取組	概要	具体的な取組実績	
1 ・総合的な探求の時間での探求過程において、データ分析等の情報活用力を実践できるように、外部機関を利用しながら指導していく。	九工大名誉教授 篠原 武 氏による人工知能講座 【予定】土井一生(かずお)氏によるデータサイエンス講演会	9月26日(木)総合的な探求の時間に実施した「大学ジョイントセミナー」において、九州工業大学名誉教授 篠原 武 氏による人工知能講座とプログラミング演習を行った。対象は理系2年生及び理系を希望する1年生あわせて36名で、約100分間、迷路ゲームのプログラムをとおして、理系学問の魅力、AIの面白さや可能性などについて興味関心を高める授業をしていただいた。 1月7日(金)、1、2年生に対して、野球のビッグデータ収集・分析の専門家、土井一生氏による、データサイエンス講話を実施した。野球のビッグデータ収集、解析の仕事の話をとおして、世の中でデジタルデータがどのように使われ、生かされているか、分かりやすく教えていただいた。	
2 ・先進の学校や研究機関等を視察し、得た情報を基に校内で研修会を実施する。	先進校視察 福井県立高校3校 長崎県立松浦高校 【予定】南九州の高校3校 ICTエリアリーダーによる研究授業	福井県立高校(敦賀高校、鯖江高校、大野高校)、熊本・鹿児島・宮崎の高校(水俣、川内、都城西)、および長崎県立松浦高校への訪問で、それぞれの「教育DXの教育活動や実践事例」、「先進的な設備環境」、「効率的に利活用できるようにするための仕組み」などの話を伺い、職員会議などで報告するとともに、本校でのDX活用やICT教育支援、および次年度以降の教育課程編制の参考にした。 県のICTエリアリーダーを務める本校職員が、自身の担当教科(理科:物理)において県内スーパーイーチャーのICT活用授業を複数回参観し、この研修経験を生かして、校内でICT利活用の公開授業を実施した。	
3 ・大学教授等の外部有識者と学校をオンラインで結び、講演会等を通して専門的な知識の向上を図る。	7月6日 職業セミナー (株)SUMCO大浦康浩氏 (株)名村造船所池田健吾氏 9月17日「理系人材育成事業」 西九州大学教授安田みどり氏 11月9日 名村造船所見学 大阪府立大学 工学教授講演	7月6日(土)「土曜ゼミの職業セミナー」において、伊万里市の半導体メーカー(株)SUMCOのエンジニア大浦康浩氏、および(株)名村造船所エンジニア池田健吾氏より、理工系職業の仕事内容、理数の知識を生かした社会貢献の魅力とやりがい、今後の展望等について、講師ご自身のキャリア経験をとおして講演いただき、受講生徒計49名が興味関心を高めた。(教育効果の観点から、オンラインではなく対面とした) 9月17日(火)1年生で「理系人材育成事業」を実施した。西九州大学教授安田みどり氏から1年生全員に向け「リケジョの私」をテーマに講話をいただいた。高校時代の理系選択、理系学問の魅力、大学における理系研究、卒業後の進路の幅広さ等について、興味関心を高める講話をいただいた。(教育効果の観点から、オンラインではなく対面とした)	
4 ・プログラミング等の情報教育の充実を図るため、デジタル教材を導入する。	「Pスタディ」を購入、インストール	各科目的基礎力定着はもちろん、情報科目の理解を助け、大学入試共通テスト対策にも活用できるよう、ペネッセコーポレーションのデジタル教材「Pスタディ」を、3年生148名、2年生185名、計333名の学習用PCにインストールし、授業時や家庭学習で取り組ませることで、受験科目及び情報科目の学力向上を図っている。	
5 ・外部講師を招いての情報モラル・セキュリティ研修を実施する。	伊万里警察署生活安全課 による「情報モラル講演会」	伊万里警察署生活安全課から講師を招き、サイバー検査の観点から講話をいただいた。SNS上の身近なトラブル、デジタルタトゥー、ワンクリック詐欺、ゲーム課金、違法アップロード、著作権・肖像権、など、多岐にわたる情報モラルについて学びを深めた。	
6 ・空き教室に情報機器や理科設備を配置し、総合的な探求の時間はもとより課外活動でも自由に研究活動や研究ができる教室として、職員や生徒に開放する。	生物教室にデジタル顕微鏡	生物教室に、デジタル顕微鏡、電子黒板などの機材設備、およびプリンターを設置し、総合的な探求の時間や放課後に研究活動ができるようにした。なお、高額な精密機材であるため、放課後の時間においても教師の指導監督のもとで使用することとしている。 ※令和6年度第62回九州高等学校理科研究会沖縄大会に参加し、デジタル顕微鏡の活用事例等について情報共有・研修した。	
7 デジタル実験器具を活用した化学実験や観察を行う機会の増加を図る。	理科(生物)の授業 体験入学における体験授業	3年生の総合生物の授業で、5～7月に5回、8月には特課において3回、計8回、デジタル顕微鏡と電子黒板を使った授業を行い、1年時はコロナ感染対策のため体験させられなかった実験・実習を行うことにより、授業内容の深まりや知識理解の定着を図った。 また、夏の体験入学では中学生31名に対し、デジタル顕微鏡と電子黒板を使い、ウニの卵が受精する様子を観察する体験授業を行った。中学生の理系教科への興味関心を高め、進学意識の向上につなげた。	
8 地元のカブトガニを守る会等から協力を得ながら理科分野への興味関心を高める。	理化・生物部の活動 海岸清掃ボランティア	伊万里市カブトガニを守る会や伊万里市教育委員会、九州大学の清野准教授の協力や助言を得て、理化・生物部の生徒を中心に、「カブトガニの産卵を観る会」、「新生飼育と放流会」、「カブトガニ教室」などのイベントを行った。 また、2、3年生約90名が、理化・生物部顧問の指導のもと、カブトガニ産卵地の海岸清掃活動を行うことをとおして、生物学や自然科学への興味関心を高めた。	
9 学校運営協議会から助言をもらいながら、教育内容の充実を図る。	学校運営協議会	年3回実施の学校運営協議会において、会のメンバーから、新しい学科創設や地域との連携のあり方について協議し、伊万里高校の学力向上や魅力アップへの取り組み、方策についてアイディアや助言をいただいた。	
10 総合的な探求の時間の発表会において外部有識者にも評価をしてもらいフィードバックの機会を設ける。	総合的な探求の時間の成果発表会 にて、外部有識者による講評	3月21日(金)、総合的な探求の時間の成果発表会において、「株式会社nico」代表で「まちの大学いまり」を主宰しておられる岩橋忠介氏に出席いただき、生徒の発表を見てもらい、今後の探究活動や発表内容の充実のため、研究内容の深め方、より効果的なまとめ方やプレゼンの仕方等の観点から講評をいただいた。	
11 現在、特別選抜入試で実施している理化・生物での生徒募集について検討を行う。	理化・生物の選抜実施および今後も継続	令和7年度の入学者選抜において、理化・生物の募集枠を2名設け、募集した。 令和8年度以降の入学者選抜においても、引き続き理化・生物の募集を継続し、周知広報に努めたい。	

職業セミナー SUMCO (株)



大学ジョイントセミナー 九州工業大学 人工知能講座



名村造船所 事業所・工場見学 大阪府立大学大学院教授講演



デジタル顕微鏡 理科の授業、体験入学



理系人材育成事業 リケジョ講座 西九州大学

